

警告 安全のために

警告表示の意味

取付説明書と別冊の接続説明書および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に動かず、けがの原因となります。



禁止



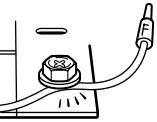
運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

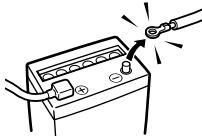


禁止



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外す

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

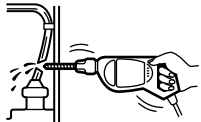
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



禁止



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

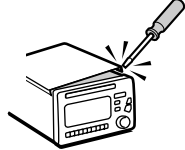
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

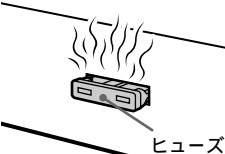


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



ヒューズ



注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

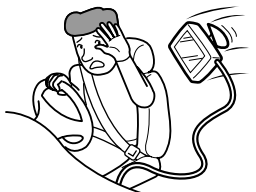
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止



本機の通風口や放熱板をふさがない

通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止



アンテナは車体からはみ出さないよう取り付け

歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



禁止



SONY®

取付説明書



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取付説明書と接続説明書および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取付説明書と別冊の接続説明書および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この取付説明書と別冊の接続説明書に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

WX-C70MD WX-C60MD WX-C50

Sony Corporation © 1998 Printed in Japan

取り付け部品（付属）

①



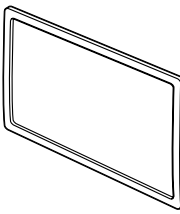
⊕ K5×8
(×6)

②

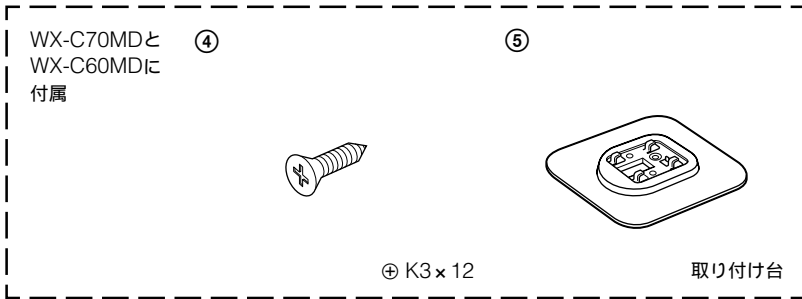


⊕ T5×8
(×6)

③



日産車用プレート



WX-C70MDと
WX-C60MDに
付属

④

⑤

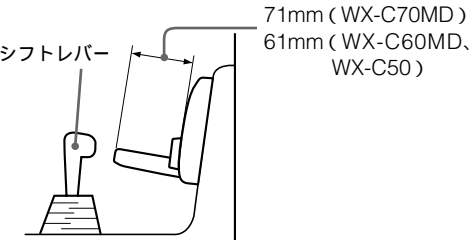


⊕ K3×12

取り付け台

取り付ける前に

フロントパネルの開閉のためには、シフトレバーからフロントパネル部まで図の間隔が必要です。シフトレバーの位置によっては、カセットテープやディスクの出し入れがしにくい場合やフロントパネル部が当たる場合があります。車のシフト操作の妨げにならないことを確認してください。



取り付け場所

こんな取り付け場所はお避けください。

- 運転の妨げになる所
- 同乗者の安全を損なう所
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所

- ほこりの多い所
- 磁気を帯びた所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所



* 1 - 3 - 8 6 2 - 9 1 3 - 0 2 *

(2)

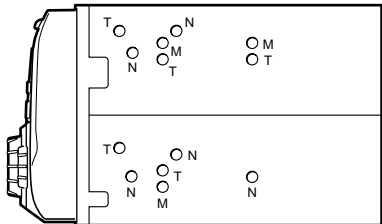
取り付け

センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、そのあとに本機を取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。お車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

ご注意

- 磁気を帯びた所、直射日光やヒーターの熱風などが当たる所に取り付けしないでください。
- 水平から+20度以内で取り付けてください。20度以上傾けて取り付けると、CDやMDの音飛びなどの原因となります。
- 純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT(トヨタ車用) M(三菱車用) N(日産車用)マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ①または②で取り付けてください。



ホンダ車に取り付ける時のご注意(WX-C70MDのみ)

本機の側面には冷却ファンが設置されています。そのため、本機をホンダ車に取り付ける時には必ずホンダ車用2DIN取り付けキットGMD-405H/406H/407Hをご使用ください。他社の製品を使用すると冷却ファンを塞ぐことになり故障の原因となります。

- 純正カーオーディオを取り外す。
センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取りはずし、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

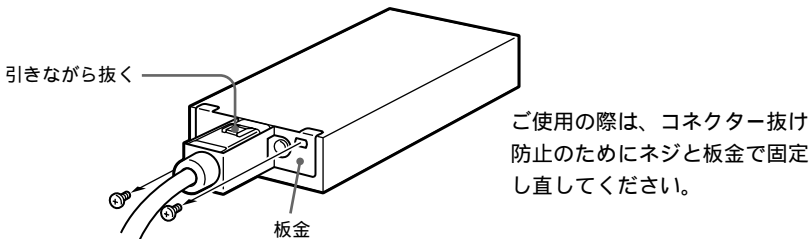
- 本機を取り付ける。
接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

ご注意

- 本機のドア部の表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- 本機の上に物をはさみ込まないでください。

DC/DCコンバーターの取り付け(WX-C70MDのみ)

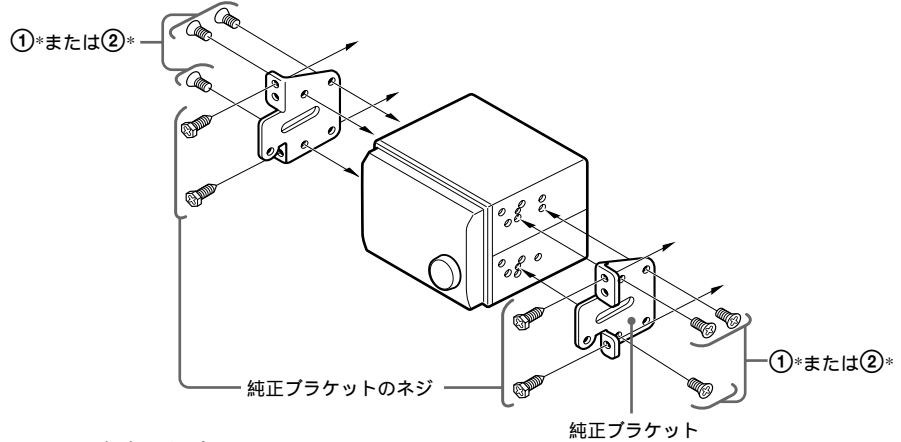
- 本体から離れたところに両面テープなどで取り付けてください。
- マットの下やエアコンの水溜がかかる場所に取り付けしないでください。
- RCAピンコードや電源コード、アンテナコードと一緒に束ねないでください。コードをかみ込ませると表示が出なくなったり動作しなくなる場合があります。
- 取り付け作業時にDC/DCコンバーターのコネクターを取り外す必要がある場合は、ネジ2本で固定されている板金を取り外したあと、コネクターのロックを引きながら抜いてください。
- 一度取り外してから接続するときは、電源コードより先に接続してください。電源コードを接続したら、リセットボタンを押してください。



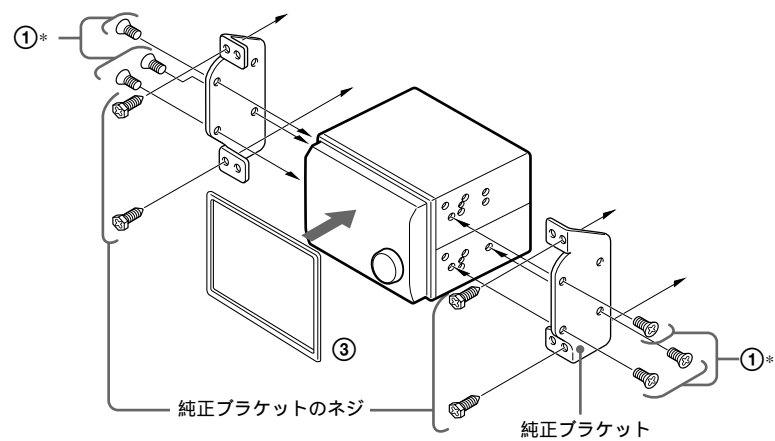
トヨタ車/三菱車の場合

(イラストはトヨタ車の場合)

- ①と②のネジは取り付け車両により使い分けてください。
- 三菱車に本機を取り付ける場合は、②のネジをご使用ください。



日産車の場合



* 付属の皿ネジ①またはトラスネジ②で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因となります。

ロータリーコマンダーの取り付け

(WX-C70MDとWX-C60MDに付属)

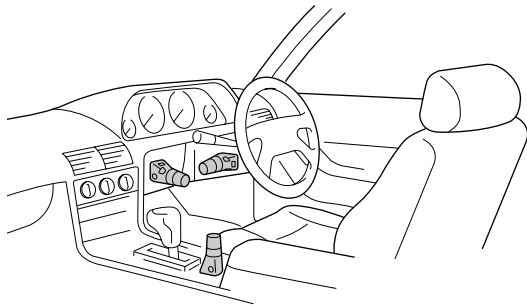
取り付ける前に

ステアリングコラムカバー、ダッシュボード、センターコンソールなどの操作しやすい場所に取り付けてください。

ご注意

- 運転の妨げにならない場所(ハンドル操作やレバー操作に影響のない場所に取り付けてください。)
- 同乗者の安全を損なうおそれのある場所には取り付けしないでください。
- 取り付けるとき、車の配線コードなどを傷つけないよう十分注意してください。
- 直射日光や、ヒーターの熱風が当たるなど高温になる場所には取り付けしないでください。
- ロータリーコマンダーのコードは無理に引っばったり、はさみ込み、かみ込みをしないようにしてください。

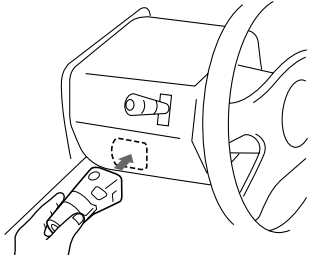
取り付け場所の例



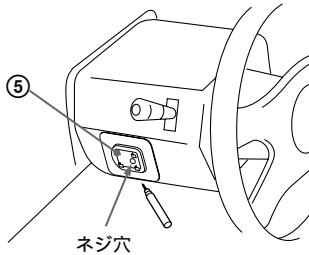
取り付け(例:ステアリングコラムカバーに取り付ける場合)

- 取り付け場所を決め、取り付け場所の表面をきれいにします。

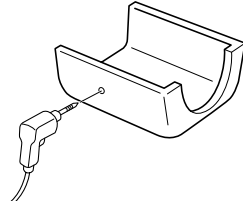
ごみや油などが表面に付着していると、両面テープの接着力が低下します。



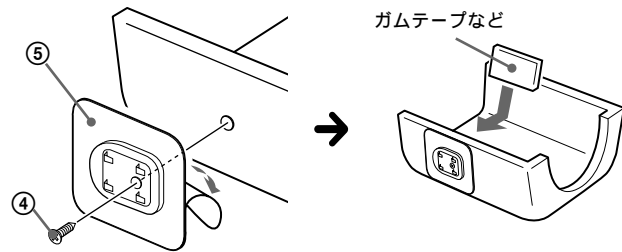
- 取り付け場所にネジ穴用の印を付けます。印を付けるには、取り付け台⑤にあるネジ用の穴を使います。



- コラムカバーを外し、印をした場所にφ2mmのネジ穴を開けます。



- 取り付け場所の表面と取り付け台⑤の両面テープをヘアドライヤーなどで20~30℃に温め、ネジ位置と合わせながら取り付け台を強く押し付け、接着します。そのあと、付属のネジ④で取り付けます。



ご注意

- ネジを締めたあと、コラムカバー裏側に飛び出したネジの先端をガムテープなどで覆い、コード類の損傷を防止してください。
- 取り付け台⑤が取り付けにくいときは、コラムカバーに合わせて切ってお使いください。

- ステアリングコラムにコラムカバーを取り付け、コマンダー底面にある固定穴(4か所)を取り付け台のツメの部分に合わせ、コマンダーを取り付けます。

ご注意

ステアリングコラムにコラムカバーを取り付けるとき、取り付け台を固定しているネジとステアリングの回転部分や、操作レバーの作動部分、コード類などが接触していないことを必ず確認してください。

